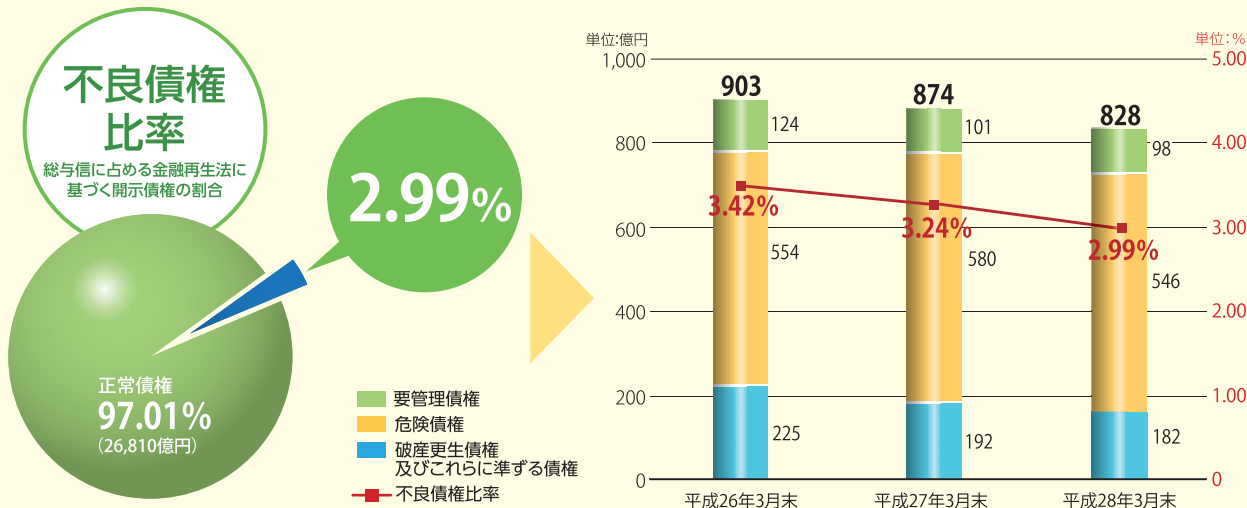


不良債権残高は前期末比46億円減少し、828億円となりました。不良債権比率については、前期末比0.25%低下の2.99%となりました。不良債権額828億円のうち、82.1%は担保や引当金等で保全されています。

不良債権(金融再生法開示債権)

■不良債権額(金融再生法に基づく開示債権)及び不良債権比率



用語解説

金融再生法に基づく開示債権

貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等が対象。なお、銀行保証付私募債については「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

●危険債権

債務者は経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

●要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

不良債権(金融再生法開示債権)の保全状況

(平成28年3月末現在)

平成28年3月末の不良債権総額828億円のうち、82.1%は引当金や担保・保証により保全されております。

(単位: 億円)

区分	与信残高	担保・保証等			引当額	未保全額	保全率
		優良担保 優良保証	不動産担保	その他			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	182	173	136	15	21	9	100.0%
危険債権	546	362	238	65	58	93	83.5%
要管理債権	98	29	6	22	0	11	41.8%
金融再生法開示債権合計	828	565	380	104	80	114	82.1%
正常債権	26,810						
総与信	27,638						

※優良担保：預金、有価証券等

※優良保証：政府、信用保証協会、金融機関、上場有配会社等による保証

リスク管理債権の状況

(単位: 億円)

リスク管理債権	破綻先債権 延滞債権 3ヵ月以上延滞債権 貸出条件緩和債権 合計	平成26年3月末	平成27年3月末	平成28年3月末	平成27年3月末対比
		貸出金残高(末残)	26,079	26,681	27,383
貸出金に占めるリスク管理債権の割合	3.44	3.27	3.00	▲0.27	

※リスク管理債権：貸出金が対象